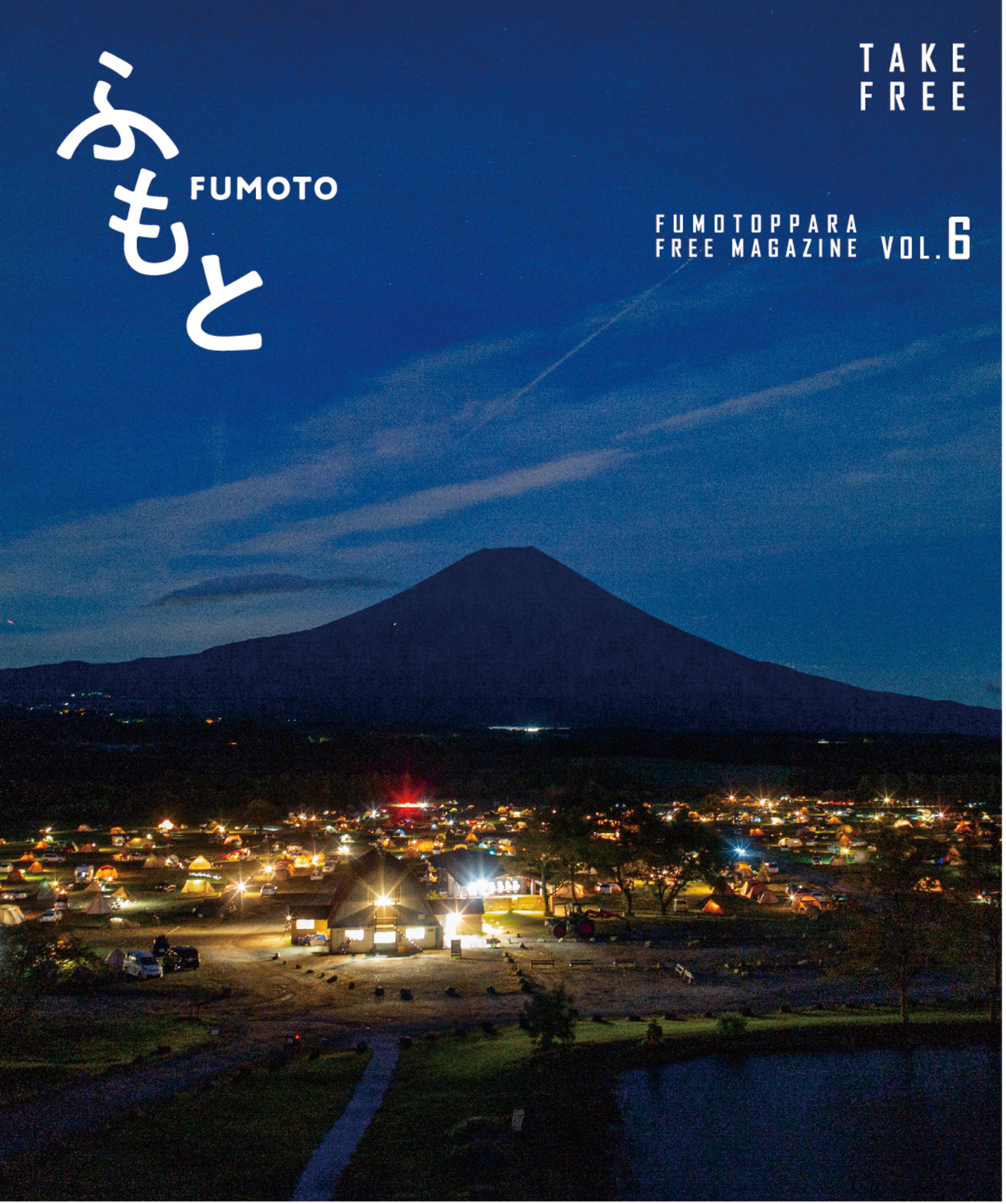
ふもと

FUMOTO

TAKE
FREE

FUMOTOPPARA
FREE MAGAZINE VOL.6

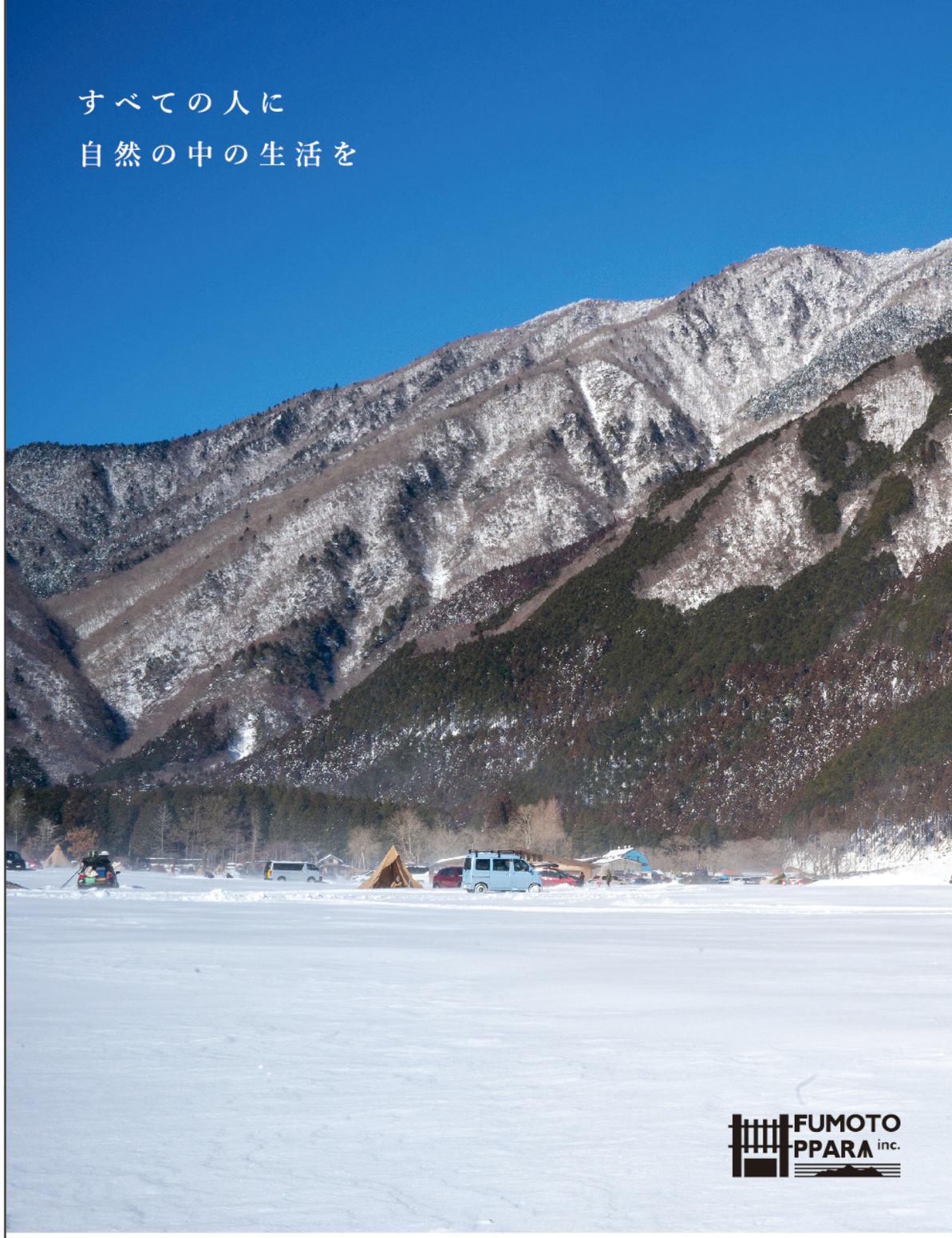


FUMOTO
PPARA inc.

無料

ふもと
第6号
発行所・〒418-0109 静岡県富士宮市麓156 TEL0544-52-2112 株式会社ふもとっぱら https://fumotoppara.net
2023年12月30日発行 編集・K Design Office 写真・松崎誠司 印刷・三協紙業株式会社

すべての人に
自然の中の生活を



FUMOTO
PPARA inc.

ECOLOGY PAPER

グリーン購入基準対応紙

フリーマガジン「ふもと」は環境に配慮した紙を使用しています

FUMOTOPPARA NEWS

WINTER 2023



ふもとっぱらの敷地内にある窯で炭作りをしている炭職人の塩島さん

半年間の試行錯誤の末に完成。ふもとっぱらの木で作った炭の販売がスタート

2023 年からスタートした炭の販売。ふもとっぱらのクヌギやナラなどの有毒な物質を発しない木を使用し、職人の手により丁寧に作られる炭は、火の持ちと火力が良くすでに人気商品となっています。ふもとっぱらの敷地内に炭窯をつくり、半年に渡り試行錯誤の末に満足のいく炭を完成させました。良い炭を作るのは難しく、炭窯の排気口を閉じるタイミングや木を窯の中に並べる作業は長年の経験と勘が必要です。今では輸入物が多い炭ですが、ふもとっぱらオリジナルの炭で、ぜひバーベキューを楽しんでみてはいかがでしょうか。

※炭づくりの関連記事を P7 で掲載



焚き付け用の杉の葉と細かい炭もセットになった炭は、場内の売店にて販売中。1 セット 500 円（1kg）



袋詰めなどの細かい作業は山本さんの担当

FUMOTOPPARA PHOTO COLLECTION

撮影：松崎 誠司



思い出の一枚を

「皆さんの記念の一枚が撮れるように」と思いを込めて、富士山が背景にくるようにふもとっぱらの大ロゴ看板をキャンプ場内に設置しました。ぜひここで思い出の一枚を撮影してください。



まつざき せいじ
創業からキャンプ場を支えるスタッフ。ふもとっぱらの自然に魅了され、毎日カメラでその景色を収め、ふもとっぱらのインスタグラムに投稿している。林業にも精通。ライカのカメラとチェーンソーを使い分ける日々。

fumotoppara_official
Instagram ページでは、ふもとっぱらキャンプ場の日々の風景を投稿中。投稿される写真の多くは松崎が撮影。ぜひ、フォローしてください。

Kenashiyama & Fumotoppara

毛無山の恵みとふもとっぱら

ふもとっぱらは毛無山を抜きにしては語れません。
毛無山の恵みがどのようにふもとっぱらと関係しているかをご紹介します。



キャンプサイトの背景にそびえる山並みが毛無山

毛無山は富士山と同じくらい私たちにとって大切な山です

キャンプ場の西側にそびえる山が毛無山（標高 1,964m）です。ちょうど富士山を正面に見ると反対側です。戦国時代は「富士金山（黛金山）」と呼ばれ、金の採掘で栄えました。現在では朝霧高原が一望できる山として登山客で賑わいます。名前の由来は「木の無い山」など諸説ありますが、「ふもとっぱら」の名前は、「毛無山と富士山のふもとの原っぱ」が由来となっていて、このことから毛無山が中心的な存在であることがわかります。ふもとっぱらでは毛無山の森林管理を昔から大切に行い、山を育て保全し山の恵みをお客様に提供するなど、「人と森の距離を再び近づけること」を理念とし活動しています。



雪化粧をした冬の毛無山

キャンプ場内の水道水は毛無山から引いた水です

場内で使っている水は毛無山から引いている飲料水です。適切に森林管理を行うことで、山が雨水を蓄え、何年もかけてそれを浄化し、キャンプサイトまで美味しい水を届けてくれています。皆さんも知らず知らずのうちに、毛無山の恵みを受け取っているということになります。





キャンプサイトに整備されている
水道水は毛無山の山水



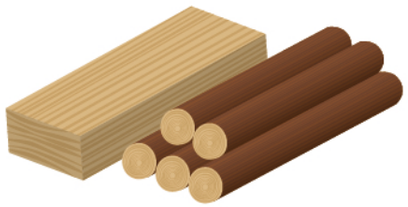
毛無山を流れる白沢水



昭和 46 年から使われていた富士農場時代の宿泊施設を
毛無山のヒノキを使ってリノベーションした「毛無山荘」



木造の家に実際に住む体験をしてもらいたいと
2016 年に完成した「コテージ柏」にも毛無山のヒノキを使用



毛無山から刈り出された木でコテージやトイレなどが作られています

場内にある「毛無山荘」「コテージ柏」「草原中央トイレ」などで使われた建材は、毛無山から刈り出されたヒノキを使用しています。お客様に利用していただく施設には、自分たちが管理している毛無山の木を使い、木の香りと木の温もりを感じていただけるようにと考えています。



自社で刈り出された木を製材して建材へ



屋根を切妻型にすることで富士山の風景に馴染ませた草原中央トイレ



草原中央トイレの吹き抜け部分（写真）の天井はヒノキ大径材を使用し、釘や金具などを使わない伝統工法によって作られています。室内も木の香りと温もりを感じられます。中央の通路からは東に富士山、西に毛無山が見えるようにゲートのような形に設計されています

間伐材で炭づくりを新たにチャレンジ

間伐によって間引きされた木の一部は、炭焼き窯で焼き、ふもとっぱら産の炭として売店にて販売しています。炭職人が丁寧に時間をかけて作った炭は、火の持ちと火力がよく、国産炭の質の高さを感じていただけると思います。

※炭づくりの関連記事を P3 で掲載





炭は長いものから端材まで無駄なく使用



敷地内に作られた炭窯。庫内温度は約 700℃にもなる



炭窯の中の様子。60cm ほどにカットしたクヌギやナラなどの広葉樹を綺麗に組み上げて、窯の中をいっぱいにしていく

オリジナルグッズを間伐材を使って販売

毛無山のヒノキの間伐材を身近に使えるグッズに加工し、販売しています。ヒノキは木目が美しく、使い込んでいくと色合いも変わってくるので、長くお使いいただけます。実際に使っていただくと木の手触りやその風合い、木の香りなどが実感できると思います。



小回りの効くサイズが使い勝手の良いまな板



丸型のコースター



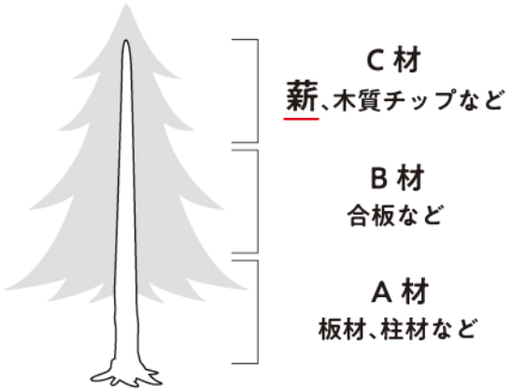
キャンドルスタンド



星型のキーホルダー

薪の販売は間伐材の有効活用

森は植林した木が成長してきたら、木全体に太陽の光を当てて木の成長を促します。その際に木と木の間隔を適正に保つために木を間引きます。この間引いた木を「間伐材」と呼びますが、この間伐材を薪として売店で販売しています。お客様がこの薪を燃やすことで CO2 が発生し、その CO2 を森林が吸収し木の成長へと循環していきます。



間伐された木は部材によって分けて使用されます



間伐することで木々の間に太陽の光が射し込む



ふもとっぱらにて管理されている人工林



ふもとっぱらキャンプ場で販売されている薪は間伐材を活用したもの

薪ボイラー導入。石油エネルギーから木質エネルギーにチェンジ

これまで浴場のお湯を灯油で沸かしていましたが、2018年に薪ボイラーを導入し、灯油の使用料の削減を実施しています。化石燃料は CO2 が排出されるのみですが、薪ボイラーは木質バイオマスから排出された CO2 を森林が呼吸し、森林の成長を促進するので好循環を生み出します。
使用する薪は毛無山の間伐材をはじめ、炭や薪の加工に難しい端材、お客様から回収した使用済みの炭や薪も燃やせるので再利用しています。



オーストリア製のボイラーによって薪でお湯を沸かす



ボイラーで沸かされたお湯を浴室で使用



大きなタンクにお湯をためて、ここから浴場へと移送する



タッチパネル操作でボイラーのシステムを稼働

日本一の富士山

ふもとっぱらから見られる富士山の美しい姿

富士山の雄大な姿が真正面に見えるふもとっぱら。
ずっとふもとっぱらで富士山を観察しているスタッフが、
その美しさの理由と季節によって変わる富士山の特徴的な風景を解説します。

富士山を見るなら季節は冬、時間帯は早朝が狙い目



富士山は世界から見たら決してそれほど高い山ではありません。しかし、各国の一番高い山が独立峰というのは意外に珍しいのです。山頂だけ雪が積もり、光の屈折で山肌が青く見える富士山は、世界で見ても奇跡的な美しさです。現在では日本人だけでなく世界中の人たちがその美しさに魅了されています。

ふもとっぱらでは、早朝に空気が澄んでいるため富士山がよく見えます。富士山がよく見えるのは気温が低く雲ができにくい冬（特に２月）ですが、夏でも早朝は見えることが多いです。ふもとっぱらでのキャンプの朝は、ぜひ早起きして富士山をご覧ください。

ふもとっぱらから見られる幻想的な富士山



日の出

キャンプサイトから見ると、富士山の右側から太陽がのぼります。ふもとっぱらでは初日の出を拝むために来場するお客様が毎年多いです。



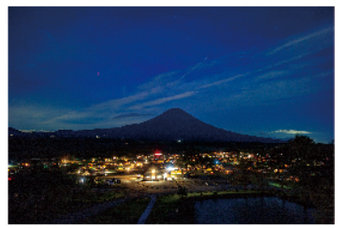
ダイヤモンド富士

3 月中旬と 10 月中旬には富士山の山頂から太陽がのぼる、通称「ダイヤモンド富士」が見られます。



赤富士

陽が落ちる頃に富士山が夕陽で赤く染まる現象が起きることがあります。この現象は一瞬で終わるので見逃さないようにしてください。



星空とテントの灯り

サイト一面にテントの灯りが広がる中、富士山から星座がのぼってくる様子はとても幻想的です。



逆さ富士

冬季の風がない日に、場内の池で綺麗な「逆さ富士」が見えます。「ダイヤモンド富士」のときに一緒に見ると、「ダブルダイヤモンド富士」が現れるかもしれません。



朝霧と焚き火の煙

朝に霧が発生しやすい朝霧高原。お客様の焚き火の煙と薪ストーブの煙が一緒になり、富士山の姿をより幻想的に演出します。

富士山がよく見えるのには地形に秘密があった !?

ふもとっぱらで富士山が美しく見られるのには３つのポイントがあります。

POINT 1 富士山に向かって扇状にサイトが広がっている



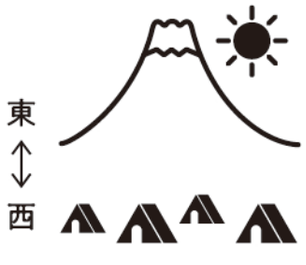
ふもとっぱらは富士山に向かって扇状に広がった形（上図）をしています。これが富士山が大きく見える効果の一つとなっています。

POINT 2 富士山に向かってサイトが見下ろす地形になっている

キャンプサイトは富士山の裾野に向かって下るような地形となっているため、富士山の全景が見えやすい環境をつくっています。



POINT 3



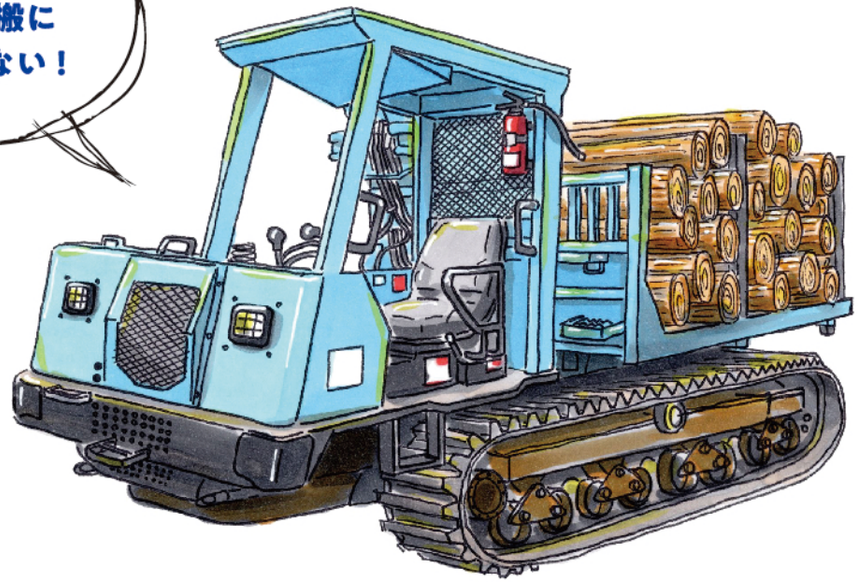
富士山がサイトから見て東に位置する

サイトから見て富士山が真東に位置するため、富士山からのぼる日の出を見ることができます。朝以外は逆光にならないことも、ゆっくり富士山の姿を眺めることができるポイントです。

林業機械 イラスト図鑑

vol.2

不整地などの
木材運搬に
欠かせない！



フォワーダ

forwarder

玉切りした短幹材を荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械です。広い荷台と荷重バランスで、短材から長材まで効率よく積め込めます。また、接地面の広いゴムクローラと低く安定した重心により、不整地や軟弱地でも高い走行性能を発揮します。



悪路でも安定して走行できるよう
足回りはゴムクローラ仕様

ふもとっぱらをさらに楽しむヒント集

vol.1

広い草原の星空☆を眺めよう

ふもとっぱらは広い草原で空を遮るものがないため、
視界を邪魔されず天体観測をすることができます。
ぜひ、一面に広がる星空をお楽しみください。



富士山からのぼる星座

富士山がキャンプサイトから見て東にあるため、夜空を見上げると富士山から星がのぼるように見えます。オリオン座など見つけやすい星座がのぼる時間を調べて、富士山と星座の写真撮影にチャレンジしてみてください。



キャンプサイトにかかる天の川

キャンプサイトにかかる天の川を探してみましょう。東の空が明るいので富士山越しの天の川は見えにくいですが、富士山とは反対側の毛無山方向では天の川が見えることが多いです。天の川は夏以外でも見えますので、探してみてください。



テント夜景を楽しもう

夜になるとお客様のテントの灯りがサイト一面に広がります。草原に広がるテントの灯りと富士山のコンビネーションは、他ではあまり見られないかもしれません。

ふもとっぱらグルメ

Fumotoppara Gourmet

豚鹿豚鹿（ぶかぶか）バーガー

金山テラスにて提供しているメニューの中から、毎回そのこだわりをご紹介。
今回は一番人気の「豚鹿豚鹿バーガー」です。



豚鹿豚鹿バーガーがメニュー化したのは３年前。それから何度もリニューアルを重ね、現在の味に辿り着きました。美味しく手軽に鹿肉を味わっていただきたい。そういった思いで、鹿を加工する工場まで作り、新鮮な地場の鹿を加工してバーガーに使用しています。



鉄板で焼き目をつけたバンズはほっかほか

美味しい豚鹿豚鹿バーガーができるまで



食べやすくするために豚肉と合い挽きに

自社工場にて加工した鹿肉をミンチに。鹿肉だけだと脂身が少なく焼いた時に硬くなってしまうので、豚肉と合わせます。配合を確認しながら丁寧にミンチにしていきます。



手で混ぜることで食感重視！

ミキサーを使って混ぜると時短になりますが、粘りが出てしまうので手で材料を混ぜます。そうすることで、食べた時の食感が変わってきます。この一手間が重要です。



120g のパティで食べ応え十分！

一人前 120g のビッグサイズパティ。バーガーを食べた時にどこからでも肉に当たるように大きく丁寧に手作業で成形していきます。



注文が入ってからじっくり焼く

熱々のバーガーを食べていただけるように注文が入ってからジューシーに焼き上げていきます。焼く際はラードを使用し、旨みを引き出します。

完成



焼き上がったパティとたっぷりのレタス、トマトを挟んだら、特製ソースをかけてバンズでサンド。できたて熱々の豚鹿豚鹿バーガーをお召し上がりください。

金山テラスへお越しください！



キャンプ場内にある食堂です。朝霧高原ジビエやご当地ドリンクなど、こだわりの食材を使ったメニューがいっぱい。
季節によってメニューが変わるのも楽しい。
営業時間：10:00~17:00※フードメニューは 15:00 まで

あなたのステキなふもとっぱら写真をみんなでシェア

ふもとっぱら日和

FUMOTOPPARA BIYORI

松崎賞



@dj_daishizen

最高の富士山七変化



@konkon612

陽が出てて暑いくらい

快晴でずっと幸せなキャンプ



@choboxbox



@sakamacchiato

空気が澄んでて最高！



@ogi_camp_

結婚3年記念日

かたわれどき



@09gatzsan

竹川賞…ふもとっぱらキャンプ場の社長によるセレクト　編集部賞…フリーマガジン「ふもと」編集部によるセレクト
松崎賞…ふもとっぱらキャンプ場の SNS などの投稿写真を撮影するスタッフによるセレクト

編集部賞

一緒に雪遊び！



@oyachan_official



@miipiiii

いっぱい遊んだにゃん

社長賞

お気に入りの一枚



@pee_aki



@ohken0

5人一緒の最後のキャンプ



@ri.ri.ri.camp_family

みんなでRRRポーズ



@itsuka_yanase

九州からキャンパーの聖地へ

限定オリジナルステッカープレゼント

投稿写真募集中

投稿写真の中から厳選し、こちらで掲載させていただきます。

#ふもとっぱら日和

をつけて Instagram に投稿してください